

時間生物学セミナーシリーズ

演題名：時間栄養学とは

演 者：田原 優 博士

(University of California, Los Angeles, Department of Psychiatry and Biobehavioral Sciences, Visiting Assistant Professor)

日 時：2017 年 9 月 5 日（火）17 時 00 分～18 時 00 分

場 所：中央校舎 0309 番教室

セミナー概要

概日時計（体内時計）は、多くの生理機能に日内リズムをもたらすことで、生体の恒常性維持に貢献している。時差ボケなどの概日時計の乱れは、生活習慣病、糖尿病、循環器系疾患、癌などの病気を悪化させる。光や食事は概日時計の時刻を調節することから、光や食事のタイミングは重要となる。例えば、夜間の光や夜食は概日時計を夜型化してしまう。一方で、朝日や朝食は概日時計の朝型化を促す。時間栄養学とは、このような食事の時刻、またはその食べる内容を考慮する学問である。本講演では、時間栄養学の基礎を概説すると共に、概日時計を調節する機能性食品成分、食べ方の違いが生体に及ぼす影響、など最新の研究を紹介したい。

<演者紹介>

田原 優（たはら ゆう）先生： 米国 UCLA 医学部 (Colwell lab) Visiting Assistant Professor



2013 年早稲田大学先進理工学部にて博士（理学）を取得。早稲田大学助手を経て、2015 年より早稲田大学高等研究所助教、2017 年 1 月より現職。2007 年より、早稲田大学柴田重信教授と共に、時間栄養学研究の確立に取り組んできた。また、発光イメージングによるマウス体内時計測定、ストレスによる体内時計調節などの成果も発表している。常にヒトへの応用を意識しながら、最先端の基礎研究を行っている。

※「生物の計時機構」は、ほとんどすべての生物が持っている重要な機能です。研究対象生物に関係なく、大学院生、学部生、教員の皆さまの今後の研究に役立つ内容です。皆さまのご参加をお待ちしております。

連絡先：農学部動物生理学研究室 中村孝博（5-405、内線7823）